

基本目標

第4 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

[展開方針]

- 1 生涯学習のまちづくり
- 2 幼稚園教育の充実
- 3 小中学校教育の充実
- 4 高等学校教育等の充実
- 5 社会教育の充実
- 6 市民文化の創造
- 7 文化財の保護と活用
- 8 生涯スポーツの推進
- 9 青少年の健全な育成
- 10 多様な地域間交流の推進

1 生涯学習のまちづくり

現状と課題

- 急速な社会の変化と個々のライフスタイル[※]の多様化に伴い、市民の生活課題は時代とともに変化しています。市民一人ひとりが時代に柔軟に対応し、自らの意思で自己の生きがいや充実のため、生涯にわたって学習し課題に取り組み、学んだ成果を地域で生かせる環境づくりを推進する必要があります。
- 生涯学習をまちづくりの視点から推進していくため、市民活動を支援し、人材や団体の育成とそれらを結ぶ横の連携が必要となります。
- 都市化の進展、核家族化や少子化など子どもを取り巻く社会環境の大きな変化を背景に、子どもが日常生活の中で多くの世代と交流することや様々な体験活動の機会が少なくなっています。子どもたちが自主性や協調性を養い、何事にも意欲を持ち、健やかな成長を育むためには社会全体が子どもの活動を支援し、見守っていくことが必要です。

基本方向

- 市民へ生涯学習活動の必要性を普及・啓発するとともに、市民が抱える地域課題や生活課題に対する学習を支援し、学びの意欲を向上できるように、生涯学習社会を推進する総合的な環境づくりに努めます。
- 市民・団体・事業者・学校・行政などが連携し、活動に伴う様々な情報を共有し、刺激し合い相互に学びあえるようにネットワークと活動支援の場の整備を図るとともに、市民活動をリードする地域の人材育成と発掘に努めます。
- 未来を担う子どもたちを守り、育てる地域社会を実現するため、地域の様々な人材を活用しながら子どもたちの安全で健やかな活動場所の充実や拡大を図ります。

施策体系

1 生涯学習のまちづくり

- (1) 学びあえる仕組みづくりの推進
- (2) 市民活動の活性化とネットワーク体制の充実
- (3) 未来の社会を担う人づくりのための機会の創出

施策

(1) 学びあえる仕組みづくりの推進

目指すこと

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりを推進します。

取組の方向

- 地域課題や生活課題に対する自主的な学習活動を支援します。
- 市民の生涯学習活動が「人づくり」、「まちづくり」、「地域づくり」につながる学びの意欲の向上を促進します。
- 市民・事業者・行政などが連携した学習支援や交流を図るよう、生涯学習の活動を支援します。
- 市民主体のまちづくりのため、生涯学習の普及・啓発活動を充実します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
生涯学習活動支援に対する市民の満足度	市民アンケートで「生涯学習の情報や機会の提供」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合	H20	79.4%	81%	82%

(2) 市民活動の活性化とネットワーク体制の充実

目指すこと

市民の学習活動やまちづくり活動への支援体制を確立させるため、学習機能のネットワーク体制を充実します。

取組の方向

- 市民や団体の交流等を通じて、まちづくり活動を行うセンター機能の強化を図ります。
- 生涯学習実践活動団体などの地域の学習情報を共有できるネットワーク体制を充実します。
- まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援を図ります。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値	
市民活動交流センターの活用数	市民活動交流センター「ミナクール」を活用した個人・団体の延べ数	個人	H21	8,423 人	9,000 人	9,500 人
		団体	H21	1,985 団体	2,100 団体	2,200 団体



市民活動交流センター「ミナクール」

(3) 未来の社会を担う人づくりのための機会の創出

目指すこと

子どもたちが健やかに育ち、社会性や協調性を養い、新しい社会に柔軟に対応していく力を身に付けるため、様々な体験や挑戦を行う機会を創出します。

取組の方向

- 子どもたちの活動を大人が応援し、見守る中で子どもたちの自主性や協調性が養われるよう、放課後などにおける様々な体験の機会を拡充します。
- 市民が自らの資格や技能、また、生涯学習の機会から学んだことを実際に学校活動などの地域活動に生かせる仕組みや体制づくりを強化します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
学校や子どもたちを支援する地域の充実度	学校内外の活動に地域の人材を活用した取組を行っている学校の割合	H21	37.5%	55%	65%



生涯学習まちづくりフェスティバル
「ふるさとポケット」

用語解説

ライフスタイル………生活の様式や営み方に加え、人生観や価値観、習慣などを含めた個人の生き方や考え方のこと。

2 幼稚園教育の充実

現状と課題

- 少子化や核家族化などに伴い、幼児の同年代、異年齢の仲間や地域の人々と交流する機会の減少や家庭・地域での教育力の低下などからコミュニケーション能力等が不足している傾向にあります。このため、早い時期に幼稚園などの集団生活に入り、基本的な生活習慣や社会性を身に付ける場としての幼稚園教育が求められています。
- 都市化、情報化といった社会の変化に伴い、子育てについての価値観や生活様式が変化してきています。そうした中で、保護者と子どもの育ちを支援するための情報交換などの場としての幼稚園教育が求められています。
- 就園対象となる幼児は、年々減少していますが、近年の経済情勢や男女共同参画社会の意識の広がりにより、共働き家庭や社会参加を希望する家庭が増加する傾向が見られます。このため、保護者の様々なニーズに対応するための「預かり保育^{*}」が求められています。
- 早期に集団生活に入り、多くの刺激を受けながら幼児の調和のとれた発達を促すため、千歳市では通常の幼稚園教育の3歳児教育枠において2歳児からの入園も可能としています。しかし、小学校教育へのスムーズな移行が課題となっています。

基本方向

- 就園を希望する幼児がより良い環境で教育を受けられるよう、幼稚園教育の促進を支援します。
- 幼稚園の整備、教職員の研修等を取り入れ、時代に合った特色ある教育環境の促進を支援します。
- 早期の問題解決や学校生活への円滑な移行が可能になるよう幼稚園と小学校との連携の支援を推進します。

施策体系

2 幼稚園教育の充実

(1) 幼稚園教育の充実



施策

(1) 幼稚園教育の充実

目指すこと

幼稚園就園を促進するため、時代に合った幼稚園教育の充実を図ります。

取組の方向

- 幼稚園を活用した子育て支援としての2歳児の受入れ体制づくりを支援します。
- 2歳児の預かり保育*を支援します。
- 就園幼児の保護者の負担軽減を図るため就園に要する費用等の一部を助成します。
- 幼稚園に対して運営費の一部を助成します。
- 障がいのある幼児の就園体制づくりを支援します。
- 時代に合った教職員の育成を支援します。
- 幼稚園と小学校の連携、交流を支援します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
幼稚園就園率	対象幼児（3歳～5歳児）の就園率	H21	65.1%	69%	71%

用語解説

預かり保育……子育て支援の観点から、幼稚園において教育時間終了後などに引き続き園児を預かる教育活動のこと。

3 小中学校教育の充実

現状と課題

- 急速に広まる情報化の中であって、子どもたちは情報を収集・選別・活用しながら、その時々
の状況に合わせて臨機応変に逞しく生きていくための力が求められています。
- 教育基本法の改正をはじめ、約50年ぶりに再開された全国学力・学習状況調査や特殊教育
から特別支援教育への転換など、戦後における学校教育の新たな局面を迎えています。中
でも学力問題に関しては、主要教科の時間数の増加、小学校外国語活動の必修化、総合的な学
習の時間の大幅な削減など、学習指導要領の大きな改訂が行われました。
- 規則正しい就寝や食事の時間など、基本的な生活習慣をはじめ、しつけ、礼節、学習習慣、
社会規範に至るまで、学校に期待される状況になっており、家庭教育と学校教育の役割を明
確にし、相互の教育力の向上と連携が一層求められています。
- 障がいのある児童生徒への教育については、これまで以上に一人ひとりの教育ニーズに合わ
せた特別支援教育へ方針が大きく転換され、特に知的障害に対する指導や施設の充実などの
教育ニーズへの早急かつ適切な対応が求められています。
- 地球の温暖化などは、未来における人類の存続をかけた重要な課題であり、全世界が足並み
を揃えて環境教育を推し進めなければなりません。また、身近な学校施設についても環境へ
の負荷*を低減するなどエコ化を進め、環境教育の実践にも資することが重要となっています。
- 学校へ様々な期待や要望等が寄せられる一方、教育現場の最前線で働く教職員が過度な勤務
を強いられる実態も見られます。心身ともに健康であることを基本に、学校長や各教職員に
おける問題解決能力など、資質や指導力の向上が求められています。
- 学校の教育目標や教育活動などの情報を地域や保護者等へ積極的に開示し、学校運営に地域
の意見を反映させ、地域に根ざした信頼される学校づくりが一層求められています。
- 児童生徒を取り巻く環境の変化とともに、問題行動も多様化し複雑化しています。いじめや
不登校等は初期対応が重要であり、未然防止に加え早期発見、早期対応が必要です。
- 児童生徒の登下校中に不審者による「声かけ」や「付きまとい」などが発生しており、千歳っ
子見守り隊などが見守り活動を行っています。子どもたちが安全に安心して登下校できる環
境づくりが求められています。
- 学校給食は、学校給食法に基づき、成長期にある児童生徒の心身の成長と健康を支える上で、
重要な役割を果たしていることから、正しい食習慣の促進を図るとともに、バランスのとれ
た栄養豊かで、おいしい食事を調理し、安心・安全な給食の提供が求められています。

基本方向

- 児童生徒の学習活動の充実を図るため、社会の変化に応じた学習機器や図書を整備します。
- 確かな学力を養うため、知識や技術といった基礎・基本の定着はもとより、応用力や表現力等の向上を目指します。
- 幼稚園・小中学校・高等学校・大学が連携し学力の向上や生徒指導等における協力体制を整えます。
- 児童生徒の良好な教育環境の確保と、効果的な教育活動を展開するため、学校規模の適正化を推進します。
- 学校・家庭・地域が協働して学校を支える仕組みを整え、地域に根ざした信頼される学校づくりを進めます。
- 特別支援教育をより一層充実させるため、専門的な教育機関である道立特別支援学校の誘致運動を積極的に展開します。
- 子どもたちの学校生活に密着した環境教育を行うことができるよう、環境に配慮した施設づくりの調査研究を進めるとともに、施設整備の推進を図ります。
- 教職員の指導力を発揮させるため、生徒指導や保護者対応などのコミュニケーション能力向上を図り、児童生徒とゆとりを持って向き合う環境を整えます。
- 不登校等の悩みや問題行動を抱える児童生徒の現状を把握し、学校復帰に向けた適切な指導体制を構築するとともに、学校や関係機関との連携の中で早期解決を図ります。
- 子どもたちが安全に安心して登下校できるように学校、保護者、町内会、関係機関等が連携して見守る体制の整備を推進します。
- 市内小中学校の児童生徒に対し、健康に配慮した安心・安全な給食を提供するとともに、給食時間等を利用した食に関する指導を進めます。

施策体系

3 小中学校教育の充実

- (1) 快適な学校環境の整備
- (2) 教育活動の充実
- (3) 安心・安全な教育環境の充実
- (4) 特別支援教育の充実
- (5) 学校を支える組織の充実
- (6) 教育相談・指導の充実
- (7) 学校給食の充実

施策

(1) 快適な学校環境の整備

目指すこと

時代に沿った教育環境の充実や学校規模の適正化に努めるとともに、環境問題に対応した教育の場として、学校環境などの整備を推進します。

取組の方向

- ・情報教育設備などの学習機器や図書を整備を推進します。
- ・施設損傷の拡大を防ぐため、早期発見による修繕を実施することによる施設の維持に努めます。
- ・学校施設の耐震化を推進するとともに、大規模な修繕を計画的に実施し学校施設の維持に努めます。
- ・児童生徒が学校施設を通じて、環境保護の大切さや環境問題に対応する方法などを学び、環境に配慮した行動を自らの生活の中で実践できるようにします。
- ・児童生徒がより良い教育環境で学校生活を送れるよう、学校規模の適正化等を推進します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
小・中学校の教育環境に関する市民の満足度	市民アンケートで「小・中学校の教育環境」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合	H20 71.1%	78%	83%

(2) 教育活動の充実

目指すこと

生きる力の源となる「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」のバランスがとれた子どもたちを育む教育活動の充実を図ります。

取組の方向

- ・各学校の特色ある教育活動を推進します。
- ・家庭教育や地域教育と連携した学習環境の創造に努めます。
- ・学力向上に向けた取組を進めるとともに、幼稚園・小中学校・高等学校・大学が連携した協力体制を整えます。
- ・国際理解、環境、福祉、情報、職業、食育^{*}、防犯など、様々な分野を通して豊かな心と生きる力を育て、未来を担う人材の育成を進めます。
- ・新学習指導要領に基づいた教育課程を円滑に実施します。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」や「読書」を奨励し、保護者とともに児童生徒の望ましい生活習慣づくりを進めます。
- ・社会性を身に付け礼儀正しく他者を思いやる心と健やかな体づくりを進めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
教育の充実に関する保護者の満足度	全校の学校評価の保護者アンケートで教育活動に関する項目に満足・やや満足・普通と回答した保護者の割合	H21 -	60%	70%

(3) 安心・安全な教育環境の充実

目指すこと

児童生徒が安心して学べる安全な教育環境の充実を図ります。

取組の方向

- 学校内の感染症予防などの衛生状態を管理し、緊急時には迅速な対策を講じるなど、常に良好な環境を整えます。
- 経済的な理由で就学が困難な家庭に必要な助成を行います。
- 遠距離通学を行う児童生徒に対し、スクールバス等を運行します。
- 児童生徒の健康状態を把握し、発達段階に合わせた適切な教育を実現するため、定期的な健康診断を実施します。
- 学校、家庭、地域と連携して、通学路における見守りや避難場所等の充実を図るなど、子どもたちを見守る体制を推進します。
- 安全対策についての意識向上を図るため、情報収集、情報提供を推進します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
安心安全な教育環境に関する保護者の満足度	全校の学校評価の保護者アンケートで安心安全な教育環境に関する項目に満足・やや満足・普通と回答した保護者の割合	H21	—	60%	70%
不審者・事件等発生件数	児童生徒が不審者や事故等に遭遇した件数	H21	28 件	25 件	23 件

(4) 特別支援教育の充実

目指すこと

障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向け、一人ひとりのニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。

取組の方向

- 障がいのある子どもたちの適切な就学先について、就学指導委員会の判定により、保護者と相談しながら自立と社会参加に向けた適正な就学先を確保します。
- 特別支援教育体制の充実を図るため、特別支援教育支援員や介助員等の必要な人員の適切な配置に努めます。
- 千歳市に道立特別支援学校を誘致するため、積極的な要望活動を行います。
- 千歳市特別支援教育研究会と連携し、千歳市における今後の特別支援教育のあり方を研究します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
特別支援教育に関する市民の満足度	市民アンケートで「障がいのある児童などの教育環境」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合	H20	70.2%	76%	80%

(5) 学校を支える組織の充実

目指すこと

学校が掲げる教育目標の下、教育関係者、地域、家庭がそれぞれの役割を果たし協働して学校を支える組織づくりに努めます。

取組の方向

- 学校評議員会や保護者アンケート、学校関係者評価などを活用し、信頼される学校づくりを進めます。
- 信頼される学校の基礎である教職員の資質向上に努めます。
- 教職員と児童生徒が向き合える環境の改善に努めます。
- 家庭と地域が一体となって子どもたちへの教育力を高めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
学校経営に関する保護者の満足度	全校の学校評価の保護者アンケートで学校経営に関する項目に満足・やや満足・普通と回答した保護者の割合	H21	—	60%	70%

(6) 教育相談・指導の充実

目指すこと

社会環境の変化や個々の児童生徒の状態に対応できるよう、教育相談や指導の充実を図ります。

取組の方向

- 不登校児童生徒の学校復帰を目指し、個々の児童生徒の状態に応じた教育相談や指導体制を充実します。
- 社会環境の変化に伴う児童生徒や教職員の悩み・不安を解消するため、臨床心理士などによる教育相談窓口の充実を図ります。
- 児童の身近な相談相手として、地域の人材（元教員や元PTAなど）を心の教室相談員として配置し、心の悩みなどの相談機会を拡充し、問題行動の未然防止を図ります。
- 児童生徒が安全で快適な学校生活を送るために、学校・教育委員会・家庭・地域・関係機関等が連携・協力し指導の充実を図ります。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
学校復帰率	不登校児童生徒が学校復帰した割合	H21	48.8%	65%	70%
相談業務月平均開設時間数	スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月平均開設時間数	H21	450 時間	480 時間	540 時間

(7) 学校給食の充実

目指すこと

児童生徒の心身の健康の維持、増進を図るため、適切な栄養摂取に配慮した安心・安全な学校給食の充実を図ります。

取組の方向

- 児童生徒の健全な成長にふさわしい献立を作成し、おいしい学校給食の提供に努めます。
- 安全な学校給食を実施するため、衛生管理体制の強化を図ります。
- 安定した学校給食を提供できるように給食施設の充実を図ります。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値	
給食提供達成率	学校が計画した給食日数に対する提供達成率	H21	100%	100%	100%



小学校での英語授業

用語解説

環境への負荷……………人の活動により環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となる恐れがあるものこと。

食育……………食べ物の成り立ちや安全性、栄養、食文化など、食に関する基本的な知識や的確に選択できる能力を身に付け、健康的で心豊かな食生活を営める人を育てること。

4 高等学校教育等の充実

現状と課題

- 高等学校への進学率は9割を超えている現状にあります。市内には2校の高等学校があり、生徒の適正・能力、興味・関心、進路等の多様化に対応した特色ある高等学校の整備が進められています。
- 高等学校等は、少子化の影響から全道的に学校の統廃合や入学定員の縮小が行われていますが、千歳市内の高等学校等においては、定員が確保されており、今後もこの状況は続くものと見込まれます。
- 千歳市内には2校の高等専修学校と千歳科学技術大学があり、在学している学生のボランティア活動などを通じて、若い力がまちづくりに寄与しており、また、産業や文化にも大きな役割を果たしています。

基本方向

- 高等学校等の適正配置や適正な入学定員を確保します。
- 特色ある学校づくりの促進に努めるよう働きかけます。
- 未来を担う人材育成のため、生徒・学生がより高度な専門知識を身に付ける機会を広げるよう努めます。

施策体系

4 高等学校教育等の充実

(1) 教育機会の拡充

施策

(1) 教育機会の拡充

目指すこと

高等学校教育等における適正な定員の確保と教育機会の拡充に努めます。

取組の方向

- ・人口の推移等を見極めた適正な高等学校等の配置や適正な入学定員の確保に努めます。
- ・経済的な理由で修学が困難な生徒・学生に対して奨学金を給付します。
- ・開校している専門学校の充実を促進し、多くの学生の教育機会の確保に努めます。
- ・生徒・学生や地域のニーズに合った高等学校教育、高等教育の促進を要請します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
高等学校入学定員	市内の高等学校の定員	H21 1,286人	1,286人	1,286人

5 社会教育の充実

現状と課題

- ライフスタイル^{*}の多様化に伴い、それぞれの個性に応じた生涯学習を選択するなど、学習ニーズの多様化が進んでいます。これらの学習ニーズに対応する学習機会を提供することが課題となっています。
- 核家族化が進み、孤立した状況で子育てをする保護者が増えています。子どもたちの人間形成上、その最も基礎となる重要な役割を果たしてきた家庭教育力の向上を図る必要があります。
- 市立図書館、公民館などの社会教育施設は、高度成長期に建設された施設が多く、計画的な改修が必要となっています。
- 公民館は、市民生活の向上に結びつく身近な学習・交流の場として生涯学習の促進に大きな役割を果たしており、多様な学習ニーズに応えられる事業の充実に努める必要があります。
- 市立図書館は、市民ニーズに応じた図書の充実が求められています。また、子どもの読書は、テレビゲームやインターネットなどの普及もあり、全国的に読書離れが進んでおり、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備が求められています。

基本方向

- 生涯におけるライフスタイル^{*}に応じた学習機会の充実に努めます。また身近な生活から地球規模の問題に至るまで、様々な学習ニーズに応じた取組を進めます。
- 様々な学習機会を通じて保護者の教育力の向上を図り、健全な家庭づくりを推進します。
- 社会教育施設の充実を図るため、市民が安全で快適な利用ができるよう耐震化やバリアフリー化^{*}、設備の更新などの改修に努めます。

施策体系

5 社会教育の充実

- (1) 学習機会の充実
- (2) 家庭教育の充実
- (3) 社会教育施設の充実

施策

(1) 学習機会の充実

目指すこと

社会の変化や課題などに対応した様々な学習機会を充実します。

取組の方向

- 地域課題や国際問題など、市民ニーズに応じた学習機会を充実します。
- 生きがいづくりや地域で活躍する人材づくりのため、高齢者の学習機会を充実します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
市民が問題解決のために取り組んだ学習内容の理解度	教育委員会主催の市民セミナー事業のアンケート結果で、よく理解できたと答えた人の割合	H21	71.2%	75%	80%
高齢者の学習意欲と地域参画意欲の向上度	教育委員会主催の高齢者対象事業のアンケート結果で、今後の活動に大いに役立つと答えた人の割合	H21	61.5%	65%	70%

(2) 家庭教育の充実

目指すこと

健全な家庭づくりを推進し、家庭における教育力の向上を図ります。

取組の方向

- ・学習機会の提供などにより家庭の教育力の向上に努めます。
- ・家庭教育に関する男性の意識の向上に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
親としての意識の変化度	教育委員会主催の家庭教育事業のアンケート結果で、今後の子育てに参考になると答えた人の割合	H21	61.4%	65%	70%

(3) 社会教育施設の充実

目指すこと

市民ニーズに対応した生涯学習の場を形成するとともに、安全で快適に利用ができるよう社会教育施設の機能の充実に努めます。

取組の方向

- ・市民ニーズを反映させながら、社会教育施設の機能の充実に努めます。
- ・高齢社会に対応した図書の実用性を高めるほか、子どもの読書環境を整備するために、絵本やヤングアダルト^{*}を対象とした図書の充実に努めるとともに、子育て期に親子で読書に親しむ環境づくりに取り組みます。
- ・市民が安全で快適に利用できるよう施設の耐震化やバリアフリー化^{*}、設備の更新などの改修を計画的に推進します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
公民館利用者数	公民館の延べ利用者数	H21	29,036 人	30,000 人	31,000 人
市立図書館利用者数	市立図書館の延べ利用者数	H21	129,561 人	134,000 人	136,000 人

用語解説

ライフスタイル……生活の様式や営み方に加え、人生観や価値観、習慣などを含めた個人の生き方や考え方のこと。

バリアフリー化……障がい者や高齢者などが社会生活を送る上で支障となる物理的、精神的な障壁（バリア）を取り除いたり、軽減すること。

ヤングアダルト……成人前の若い大人のこと。明確な定義はないが、一般的に12歳から19歳までを指す。

6 市民文化の創造

現状と課題

- 急激に変化する社会の中で、市民が豊かな心を持ち潤いのある生活を送るために、文化の果たす役割は高まっており、まちづくりの面においても個性を生かし創造性あふれる文化活動が大きな力を発揮します。また、文化活動を行う個人や団体同士が、相互に高め合い向上していくためには、ネットワークの形成に取り組むとともに、それらを支援する指導者の育成に努める必要があります。
- 市民文化センターや市民ギャラリーは、文化の創作活動や鑑賞・発表を行う拠点として指定管理者*が管理運営を行っています。民間の発想によるコンサートなどの自主文化事業等が実施されていますが、近年は入場者数が減少傾向にあり、魅力ある事業の展開が求められています。
- 昭和 59 年（1984 年）に建設された市民文化センターは、平成 17 年（2005 年）に客席や空調設備機器等のリニューアルを実施していますが、音響機器、調光機器などの計画的な更新・改修が必要となっています。

基本方向

- 社会や生活の中で文化の果たす役割が大きいことから、芸術文化を鑑賞する機会の充実に努めます。
- 個人や団体の活発な文化活動を推進するため、創作活動や発表の場を提供するとともに、文化活動をリードする人材の育成を進めます。
- 文化施設の機能を維持する上で重要な機器や設備などの更新・改修を計画的に行い、良好な施設環境で市民が文化に親しめる環境づくりに努めます。

施策体系

6 市民文化の創造

- (1) 文化鑑賞機会の充実
- (2) 文化活動の推進

施策

(1) 文化鑑賞機会の充実

目指すこと

豊かな心を持ち、潤いのある生活を送ることができるよう、文化鑑賞機会を充実します。

取組の方向

- ・市民ニーズを反映した魅力ある事業を開催するなど、多様な文化鑑賞の機会を充実します。
- ・多様な文化鑑賞に関する情報提供を充実します。
- ・文化施設の設備等の更新・改修を計画的に進めるとともに、利便性の向上に取り組みます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
市民文化センター・市民ギャラリー利用者数	市民文化センターと市民ギャラリーの延べ利用者数	H21	191,818 人	198,000 人	202,000 人

(2) 文化活動の推進

目指すこと

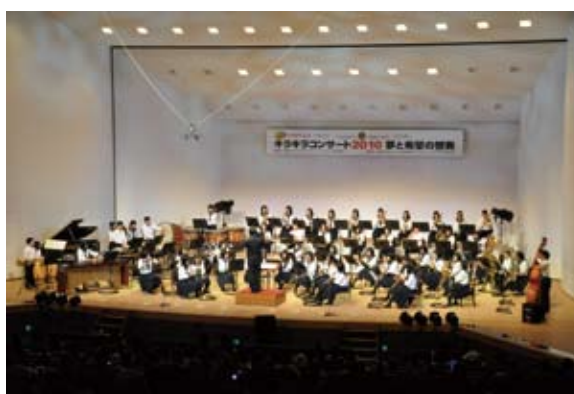
個人や団体による主体的な文化活動を支援するとともに、活動成果の発表の機会の充実を図ります。

取組の方向

- ・芸術文化活動を支える人材づくりに努めるとともに、文化関係団体やサークルなどの育成と活動を支援します。
- ・市民の主体的な芸術文化活動を促進するため、活動成果を発表する機会の充実を図ります。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
文化活動支援に関する市民の満足度	市民アンケートで「芸術文化活動の促進」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合	H20	79.0%	80%	81%



キラキラコンサート

用語解説

指定管理者……公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO 法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる指定管理者制度に基づき指定された民間の法人や団体などのこと。平成 15 年（2003 年）の地方自治法の改正により「指定管理者制度」が施行されている。

現状と課題

- 絶え間なく人や自然の歴史が営まれてきた千歳市は、多様な自然や文化財が残されています。これらは、千歳市を培ってきたかけがえのない資産や遺産であり、今後も守り伝えるとともに、市民に積極的に公開し千歳らしいまちづくりに活用していくことが必要です。
- 千歳市の歴史を示す文化財は、国指定の史跡「キウス周堤墓群」や重要文化財「動物形土製品」などに代表される埋蔵文化財をはじめ、自然史資料や開拓資料などが数多くあります。一方、空港・鉄道・道路が集中する道央交通網の基幹都市である千歳市は、今後も社会的基盤の整備や地域の開発が予想され、文化財の保護と保存が必要になります。
- 千歳市には、アイヌ文化や開拓期以降からの伝統文化があります。これらは、先人たちが日々受け継いできた伝統的な技術や芸能などであり、地域や人々を支えてきました。今日まで地域の人々の積極的な活動により保存と継承が図られていますが、多くの市民が関心を持ち理解を深める活動の充実が必要です。

基本方向

- 埋蔵文化財をはじめとする文化財の適切な保護と保存を図ります。
- 市民がふるさとに理解と誇りを持ち、まちづくりの源泉となる豊かで多様な文化財や自然にふれあう場の整備・機会の充実に努めます。
- 伝統文化について、市民の理解が深まる取組を進めます。

施策体系

7 文化財の保護と活用

- (1) 文化財の保護と保存
- (2) 郷土資料の公開と活用
- (3) 伝統文化の保存と継承

施策

(1) 文化財の保護と保存

目指すこと

地域の貴重な資産である文化財を将来へ確実に守り伝えていくために、保護と保存に努めます。

取組の方向

- 埋蔵文化財の法的協議・調査、研究を行い、保護・保存します。

- ・周知の埋蔵文化財と関係資料の整備を促進します。
- ・郷土の資料である有形・無形の文化財の保護と保存に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
文化財パトロールの実施回数	文化財の保護と保存の状況を巡回確認する文化財パトロールの実施回数	H21	—	3回	6回

(2) 郷土資料の公開と活用

目指すこと

千歳市の個性豊かな自然、歴史、文化とのふれあいを通じて、より多くの市民が郷土への意識を高めることを目指し、郷土資料等を収集・調査し、公開と活用を図ります。

取組の方向

- ・郷土の自然、歴史、文化にふれ、学ぶことができる場の整備に努めます。
- ・市民が自然や歴史、文化を知ることにより、郷土を考える機会を拡充します。
- ・郷土の自然史資料、歴史・民族資料、開拓資料等の文化財の収集・調査・管理を行い、公開と活用を図ります。
- ・指定史跡の保存・管理を行い、後世に伝えるとともに公開と活用を図ります。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
郷土の自然、歴史、文化を学ぶ機会数	体験学習、企画展、講演会、出前講座などの開催数	H21	10回	10回	10回

(3) 伝統文化の保存と継承

目指すこと

千歳市の伝統文化である郷土芸能やアイヌ文化が保存され、次の世代に継承されるよう努めます。

取組の方向

- ・郷土芸能への理解を深め、その保存と継承を支援します。
- ・アイヌ文化への理解を深め、その保存と継承を支援します。
- ・伝統文化にふれあい、地域の文化や歴史を理解することができる機会の拡充に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
伝統文化にふれあう機会数	伝統文化に関する講演会や公演などの実施回数	H21	—	2回	4回

現状と課題

- 休日の増加や高齢化の進展に伴い、自由時間を活用し、精神的な豊かさを追求するライフスタイル^{*}への意識が高まる一方、ストレスが増大し、体を動かす機会が減少するなど、心身両面の健康問題が顕在化しています。また、未来を担う子どもの生活環境においては、遊ぶ機会の減少やスポーツをする時間の不足により、体力・運動能力が低下傾向にあり、将来の大きな課題となっています。
- 生涯にわたり健康で明るく、スポーツに親しむことができるライフスタイル^{*}を目指す市民が増加しており、今後ますます多様化する市民のニーズに対応したスポーツ施策の展開が求められています。
- 千歳市では、昭和45年（1970年）の「スポーツ都市宣言」に基づき、「市民皆スポーツ」の視点から、スポーツセンターや総合武道館、温水プール等の屋内スポーツ施設、市民球場、青葉陸上競技場、サッカー場、テニスコートをはじめ、多種の屋外スポーツ施設などの整備を進めるとともに、学校施設の開放等によりスポーツの場を提供し、市民のスポーツ活動を支えてきました。今後もバリアフリー化^{*}、機能性の向上などニーズの多様化、高度化に対応した整備を進めるとともに、施設の利便性や有効性の向上を図り、市民に一層親しまれる運営管理が求められています。

基本方向

- スポーツを通じて健康で心豊かなライフスタイル^{*}を築く生涯スポーツの推進を目指し、健康づくりや体力増進に関する市民意識を啓発するとともに、スポーツに親しめる機会や場の充実を図ります。
- 多様化する市民のスポーツニーズに応じていくため、各種スポーツ活動を支援するとともに、指導体制の充実を図ります。
- 市民の日常的なスポーツ活動をより一層促進するため、それぞれの年齢や体力に応じて、いつでも・どこでも・だれもがスポーツに親しむことができるよう多機能を重視した施設の改修を行うとともに、市民ニーズに沿った施設運営の弾力的運用を図るなど利便性の向上に努めます。

施策体系

8 生涯スポーツの推進

- (1) 生涯スポーツの啓発と普及
- (2) スポーツ施設の充実

施 策

(1) 生涯スポーツの啓発と普及

目指すこと

地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成を図ります。

取組の方向

- 年齢や体力に応じた市民の生涯にわたるスポーツ活動を促進します。
- スポーツイベント、スポーツ教室などの充実に努めます。
- ニュースポーツをはじめ、多様化する市民のスポーツ活動を支援する指導者や団体の育成・確保を図ります。
- 活力あるライフスタイル^{*}を築くため、市民のスポーツ意識の高揚を図ります。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
スポーツ事業の参加割合	市及び補助団体等が開催するスポーツ事業の定員等に対する参加者の割合	H21 89.1%	90%	91%
スポーツ施設利用者数	市内のスポーツ施設(74か所)の延べ利用者数	H21 846,138人	856,000人	864,000人

(2) スポーツ施設の充実

目指すこと

快適で安全に利用できるようスポーツ施設の機能の充実を図るとともに、市民に親しまれる管理運営に努めます。

取組の方向

- 市民ニーズに沿ったスポーツ施設の計画的な改修を実施し、快適な施設の充実に努めます。
- 市民が安心して利用できるよう施設の安全性の維持と向上に努めます。
- 利用者の利便性向上を図るため、効率的な施設運営を行います。
- 市内の小中学校施設を学校教育に配慮しながら、スポーツの普及、幼児・児童の安全な遊び場や地域開放の施設として活用します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
スポーツ施設に関する利用者の満足度	スポーツ施設利用者に対するアンケートで「施設・設備」及び「利用手続」の調査項目で満足・普通と回答した人の割合	H20 80.2%	83%	85%

用語解説

ライフスタイル……生活の様式や営み方に加え、人生観や価値観、習慣などを含めた個人の生き方や考え方のこと。

バリアフリー化……障がい者や高齢者などが社会生活を送る上で支障となる物理的、精神的な障壁（バリア）を取り除いたり、軽減すること。

現状と課題

- 青少年期においては、人格を尊重しあうなど良好な人間関係をつくる方法や未来を開く創造力を養うことが求められています。このために、様々な体験や多くの人たちとの交流を積み重ねていくことにより必要な知識、経験、社会性を養えるよう青少年の健全育成に努めることが必要です。
- 今日、青少年を取り巻く社会環境は、少子化や情報化の進展などにより大きく変化しており、家庭、地域の教育力の低下、有害な情報の氾濫などが大きな問題となっています。また、近年の青少年非行の新たな特徴として、低年齢化や補導歴等のない子どもによる凶悪・粗暴な非行など重大な問題行動が目立っており、その未然防止や早期解決が求められています。

基本方向

- 青少年団体の育成や地域活動への参加の促進、活動の場の整備に努めます。
- 思いやりの心と考える力を育むため、豊かな自然や文化に関する学習機会を通じた青少年健全育成活動を推進します。
- 関係機関、団体等と連携して、青少年の非行防止活動を強化するとともに、青少年を取り巻く有害環境^{*}の浄化を推進します。

施策体系

9 青少年の健全な育成

- (1) 青少年健全育成活動の推進
- (2) 青少年の非行防止

施策

(1) 青少年健全育成活動の推進

目指すこと

青少年が心身ともに健やかに成長していくことを目指し、思いやりの心とチャレンジ精神を身に付けるように、青少年健全育成活動を推進します。

取組の方向

- ・家庭、学校、地域などとの連携・協力を通じて健全育成活動を推進します。
- ・自然体験や地域文化の理解、科学探求活動の充実を図ります。
- ・「千歳サケのふるさと館」を設置運営する財団法人千歳青少年教育財団などの青少年関係団体の育成と活動を支援し、青少年の活動の場の充実に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
青少年健全育成活動事業参加者数	教育委員会及び青少年育成団体が提供する青少年健全育成事業の延べ参加者数	H21 2,856 人	3,000 人	3,200 人

(2) 青少年の非行防止

目指すこと

青少年を有害環境^{*}から守り、問題行動を未然に防止し、非行の減少を図ります。

取組の方向

- ・関係機関との連携を強化し、巡回指導の充実を図ります。
- ・保護者、学校、事業者、地域との連携を強化し、有害環境^{*}の浄化を推進します。
- ・有害環境^{*}を有する恐れのある事業所の把握と指導を強化します。
- ・非行防止と有害環境^{*}に対する意識向上のための情報提供を推進します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
青少年指導件数	青少年指導センターの指導員が青少年を指導した件数	H21 261 件	200 件以下	170 件以下
不良行為少年の件数	警察による青少年の補導件数	H21 286 件	270 件以下	250 件以下

用語解説

有害環境……青少年の性的感情を著しく刺激したり、暴力や残虐な行為、犯罪を誘発する恐れのある出版物、映像、ゲーム、ウェブサイト、深夜営業店舗、広告物など、青少年の健全な育成を阻害する社会環境のこと。

現状と課題

- 国際空港がある千歳市では外国人の来訪も多く、国際定期路線の拡大や空港周辺地域における土地利用の推進などにより、今後も来訪機会が増大するものと予想されます。
- 様々な分野において国際的な交流活動が日常化している今日、国際化に対応する都市基盤や体制を整備していくことが必要です。
- 多面的な国際交流を推進していくためには、行政のみならず、市民、市民活動団体、事業者、学校など市民の参画が不可欠です。市民が参加・連携する幅広い交流活動の展開や国際協力を進める市民活動を支援し、世界に開かれた国際交流都市として魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。
- 平成20年（2008年）の「北海道洞爺湖サミット」と連動して開催された「J8サミット2008 千歳支笏湖」の成果をまちづくりに生かすためのアフターサミット事業の実施や通訳ボランティアなどの市民ネットワークづくりが必要です。
- 千歳市は、昭和44年（1969年）にアメリカ合衆国のアラスカ州アンカレジ市、平成6年（1994年）に鹿児島県指宿市と姉妹都市提携を結び、市民や市民活動団体・学校による交流が行われています。
- ノルウェー王国のコングスベルグ市、中華人民共和国の吉林省長春市と友好親善都市提携を結ぶなど、市民や市民活動団体における交流が行われています。

基本方向

- 国際化に対応した生活環境の整備・充実に取り組むとともに、市民や市民活動団体、事業者、行政などがそれぞれの役割を分担し、連携を図りながら様々な分野における国際交流機会の拡充に努めます。
- 国際交流に対する市民の意識を醸成しながら、国際社会で積極的に行動する人材や地域において国際交流を推進する人材の育成を進めます。また、市民参加型の国際交流活動や国際協力活動を支援し、市民や市民活動団体、事業者が主体となった国際交流活動の拡大に努めます。
- 国際性豊かな人材の育成、国際交流都市の実現のため、J8アフターサミットの実施やまちづくりに寄与する国際会議の開催など幅広い国際交流を推進します。
- 都市間の友好親善や相互理解を深めるとともに、多くの市民が参加し、豊かな心を持った人材の育成を図るため、姉妹都市との交流を推進します。

施策体系

10 多様な地域間交流の推進

- (1) 人と地域が育む国際交流の推進
- (2) 人と地域が育む姉妹都市交流の推進

施策

(1) 人と地域が育む国際交流の推進

目指すこと

国際化に対応する情報の提供や交流事業を進めるとともに、国際理解の促進や国際性豊かな人材の育成を図るよう幅広い国際交流を推進します。

取組の方向

- ・外国人の行動又は生活の利便性向上を目指すため、外国語表記（併記）を推進します。
- ・通訳やホストファミリー^{*}など市民ボランティアの育成を図り、各種訪問団などの受入れ体制の整備に努めます。
- ・国際交流活動を行う市民や市民活動団体の活動を支援し、国際感覚を持った人材の育成を図ります。
- ・市内の様々な国際交流事業の情報を一元化し、市民に国際交流の機会を提供します。
- ・千歳のまちづくりに寄与する国際会議について、情報収集に努め、開催の可能性を検討します。
- ・J8アフターサミットの実施や通訳ボランティアなどとの市民ネットワークづくりを進めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
国際交流、都市間交流に関する市民の満足度	市民アンケートで「国際交流、都市間交流」に満足・やや満足と回答した人の割合	H20	15.1%	20%	25%



J8サミット2008千歳支笏湖



(2) 人と地域が育む姉妹都市交流の推進

目指すこと

都市間の相互理解を深めるとともに、友好親善の推進とまちの活性化を図るため、姉妹都市との人的・文化的な交流を推進します。

取組の方向

- 姉妹都市との様々な分野における相互交流事業を推進します。
- 千歳姉妹都市交流協会と連携し、各種交流事業を実施するなど、市民レベルでの姉妹都市交流を促進します。
- 「姉妹都市子どもサミット」を実施し、若者の交流を深めるとともに、共通課題の解決や姉妹都市交流のあり方などを議論します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
姉妹都市交流事業に係る訪問・参加者数	姉妹都市交流事業の延べ参加者数	H21	200人	230人	260人

用語解説

ホストファミリー……留学や交流活動などを目的として訪れる外国人（海外からの来訪者）を受け入れ、世話をする家庭や家族のこと。